第９回 新医協

ＨＰＶ(子宮頸がん)ワクチン検討会 ご案内

新医協は 1960 年代のポリオパンデミックに際し、海外論文を渉猟しその知見をいち早く国民に知らせ、ワクチン導入による流行阻止と接種後副反応保障制度立ち上げに奮闘しました。

その伝統に添って 2018 年７月に HPV ワクチン検討会を立ち上げ、これまで医学・医療・薬学等の専門領域を担う会員がつどい、最新知見を読み解いてきました。さらには、接種後副反応発症者やその家族に参加を呼びかけ、実際の症状を学び、副反応症例を担当した第一線の医師を招いて検討を加え、本ワクチンの特性と深刻な副反応を明らかにしてきました。

来たる第９回では、名古屋市が行った質問紙調査から、接種者が自由記載欄に記した 451 件の生々しい症状の数々を読み解きます。

どなたも参加出来ます。事実から学んで国民の健康を守りましょう。

【演題】子宮頸がんワクチン接種者調査の自由記載欄は訴える
- 推進派が論拠とする”名古屋スタディ”の倫理的な破綻 -

話題提供：**隈本 邦彦** 教授
(江戸川大学メディアコミュニケーション学部
元 NHK 記者　薬害オンブズパースン会議メンバー)

日時：２月 21 日（金）18：30～21：00

会場：**新医協本部事務局**
(エレベーターがありません。介助が必要な方はお電話下さい)

主催：新医協(新日本医師協会)
〒171－0021 東京都豊島区西池袋１－10－２日高ビル 405
Tel 03-3988-8387　Fax 03-3983-6165
e-mail honbu@shinikyo.com　HP http://shinikyo.com